

§ 9 先進地視察研修

(1) 先進地視察報告

1) 先進地視察研修の目的

全国の物流団地・ロジスティクスパーク、公共交通ターミナルの先進地事例の中から、本地区に参考となる事例について、視察候補地を選定する。

2) 先進地視察先事例

先進地視察先の事例は関東周辺で物流団地施設の形成及び公共交通ターミナル施設の形成に取り組んでいる以下の箇所にて行う。

No	地区名	概要
①	DPL市川	複数の荷主企業が同一施設内で共同利用する従量課金制を導入したシェアリングモデル。また、自動搬送ロボットを導入した先端テクノロジーを最大限に活用し、省人化・効率化を実現するため、荷主企業の協力を得ながら、先端テクノロジーを取り入れ実証を行うR&D（研究・開発）機能を担い、確立された技術やサービスは他の物流施設にも展開。 【主な見学事項】自動搬送ロボットの導入、免震構造採用施設等
②	厚木バスセンター	都市計画決定された厚木バスセンター。 バス乗降場所及び歩道＋人工地盤（厚木サンパーク）を含めて7,700㎡の施設 【主な見学事項】公共交通ターミナル、人工地盤等
③	厚木森の里東団地	豊かな自然環境を有した丘陵地で、高規格道路や都市計画道路の整備により、大幅な交通利便性の向上が見込まれるエリア。森の里地区と一体となって業務施設集積地区として役割を担っている。 【主な見学事項】造成中の地区、従前地の半数以上が企業用地、一部保留地売却済み
④	Dプロジェクト和光	区画整理事業の停滞により、道路計画や土地利用計画の変更などにより事業計画の見直しを行った地区。開発した工業団地内の緑地を地域障害者の働く場として有効活用を実施。 【主な見学事項】換地の集約による幅広い土地活用
⑤	DPL三郷	複数の地権者が集まり土地を集約化・大規模化することで売却・賃貸する土地活用方法を実施。土地所有者の意見や要望をとりまとめ、工事工区を複数に区分し、保留地処分状況に合わせて優先度の高い工区から工事を進め、工事着手区域毎に仮移転先を都度確保し、計画を柔軟に変更した。 【主な見学事項】実際の物流施設内の事業の流れを確認
⑥	DPL流山	施設は、各区画に事務所を設置することができ、テナント企業の様々なニーズに対応が可能。特徴的なのは、仕事と子育てを両立できるよう、当施設で働く従業員専用の保育施設を施設内に完備。 【主な見学事項】通勤者の利便性を考慮した施設誘致